タマバエ

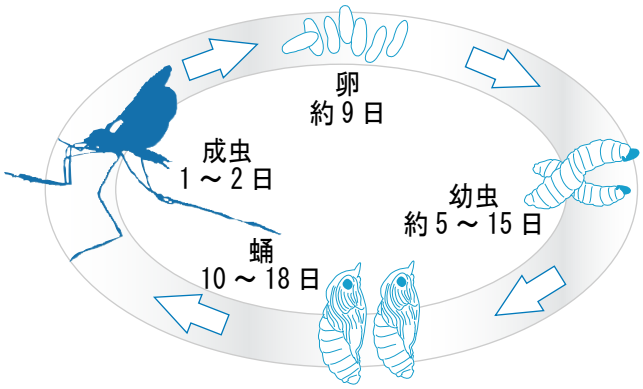
特徴と生態

- 成虫体長…1.5 ～ 3.5 ㎜（5 ㎜以下 ）
  体色…淡黄色
- 幼虫体色…円柱状　白、黄ないし赤色を呈します。
- 小型で繊細な感じのハエの一種で、頭部は小さく、触角は細長く数珠状です。
  成虫は光に誘引されやすいですが、成虫を野外で見かけるよりも、幼虫が色々な植物の葉や茎などに作る虫こぶ（虫えい、gall）を見て、種類を知ることの方が多いようです。
  一部の幼虫は、通常、朽木や腐植の中で生息するものもあり、幼虫の状態で生殖活動を行なう特殊なものも存在します。

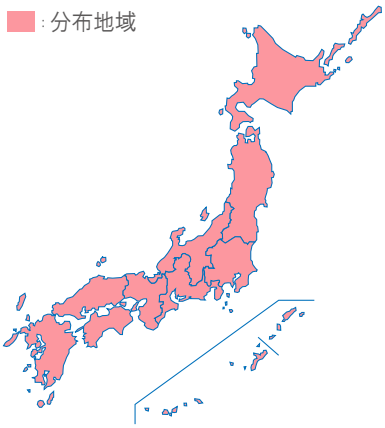
分布と発生場所

- 日本全国に分布します。
  植物の葉、茎、花、実などに虫こぶをつくる種が多く、その他、食腐性（キノコ）、捕食性（カイガラムシ、アブラムシ、ダニなど）にも寄生します。植物による発生は、植物の成長サイクルに合せて発生するため、年 1 回しか開葉や開花しない植物を寄生とする種では年 1 世代の発生となり、年に何度も開葉や開花をする種では、複数世代を経過することができます。

- サイクル図



- 分布図



- 発生時期

被害

- 植物の葉、茎、花、実等に虫こぶを作ったり、食害することがあるため、被害にあった実は心腐れ症になったり、葉は変形し、商品価値を失うことがあります。また、屋内に侵入し、異物混入要因になることもあります。

駆除

- 屋外からの侵入を防止するために出入口や窓には網戸やカーテンを取り付けることが重要です。植物に発生している場合は、植物に応じた薬剤処理を行なってください。

ECC Environment Control Center 株式会社 環境コントロールセンター
Copyright(C)2000-2012 Environment Control CenterCo.,Ltd.